

令和7年度都立駒場高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
英語	「話すこと」「書くこと」の指導の充実	・学期毎に目的を定めたパフォーマンステストの実施 ・語彙・文法・構文→和文英訳→自由英作文への段階的な指導	・定期考査ごとに担当者全体での問題の検討と精査 ・添削指導等による記述力向上への取り組み
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・年間指導計画について共有し、指導事項、教科における課題について共通認識を持つことを確認する。 ・百人一首大会の開催 ・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施	・国公立大学入試に対応した記述指導の充実 ・大学入試に対応した小論文指導の充実 ・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地歴公民	・「探究的学習」の重視 ・思考力、判断力の育成 ・国際理解の重視	地歴公民科としての一貫性を保ち、50分の授業で勝負できる精度の高い授業 国際社会に貢献できる人材の育成	・対話的な協働学習を重視する。 ・ICTを活用する。 ・主権者教育の充実を図る。 ・国際理解を促進していく。
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・大学入学共通テストや二次試験の問題を分析した授業展開 ・基礎的事項の理解の徹底とそれを踏まえた考察・推論へつなげる主体的な学習	・大学研究室や科学館に出向き、探究の具体的課程を自らの手でまとめる学習 ・「探究の過程」を踏まえた教科書の内容を超えた現象についての講義
数学	・数学的な見方 ・考え方を働かせた数学的活動	・事象を数学的に捉え、身の回りにある問題を、数学の問題として見出し、解決を図ることができるよう授業を実施 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施